



いまい 勝 今井まさる県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話043(227)7411

首都直下地震で応援体制求め!

2月県議会予算委員会で質問

地域の代表として3期目の議会活動に真摯に取り組む自民党、我孫子市選出の今井勝(いまい・まさる)県議は、新年度予算案を審議する2月県議会の予算委員会の冒頭に登壇しました。今井県議は、外国人観光客を受け入れるための環境整備について質問したほか、首都直下地震に備えた自治体間の相互応援体制の整備について、森田知事から、大阪府など「関西広域連合」との間で、災害時の協定を結んでおり、大規模災害に対する広域的な応援体制をさらに強化していくとの答弁を引き出しました。予算委員会での今井県議の幅広い質問を特集しました。



予算委で発言を求める今井県議

外国人観光客のための環境整備

今井委員

初めに、外国人観光客の受け入れのための環境整備について伺います。近年、訪日外国人観光客が増加してきており、昨年は1974万人と政府が掲げた当初目標の2

また、訪日外国人の生活文化に配慮した飲食の提供や喫煙などの面での対応も重要であることから、関係事業者に対する研修や的確な情報提供に努めて

いるところです。こうした外国人観光客の視点に立った受け入れ環境の整備は重要なため、来年度以降もこれらを着実に進めてまいります。

関西連合と相互応援

今井委員

近い将来、首都直下地震の発生が懸念されており、国の被害想定によると、今後30年間に約70%の確率でマグニチュード7クラスの地震が発生することが想定されています。

森田知事 首都直下地震が発生した場合、千葉県を含む9都県市では、相互の支援が困難であることを想定し、大阪府など関西の12府県市で構成される「関西広域連合」との間で、災害時の相互応援に関する協定を締結しています。

追っており、2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて、外国人観光客のさらなる増加が見込まれることから、受け入れ体制の整備が今後、一層重要になってくるものと考えます。そこで伺います。県では、今後増加が見込まれる外国人観光客の受け入れのための環境整備をどのように進めていくのか。

商工労働部長

県では、これまで外国人観光客からのニーズの高い公衆無線LANの利用環境の整備、外国人にも利用しやすい案内表示の普及促進、トイレの洋式化に対する助成などを行ってきたところです。

防災パンフを配布予定

今井委員

食料や飲料水などは、災害発生直後には、流通機能のマヒなどにより、被災地に届かないことが想

首都直下地震に備えて、首都圏以外の自治体との相互応援体制の整備を進めるべきと思うがどうか。

定されることから、家庭での備蓄など、県民一人ひとりの「自助」による災害への備えが何よりも重要です。県

●県政や我孫子市のご相談、ご意見をお聞かせください

今井まさる 県議事務所

〒270-1138 我孫子市下ヶ戸1825

TEL.04-7181-7181 FAX.04-7181-7187

民による「自助」の取り組みが進むよう、どのように防災意識を高めていくのか。
森田知事 県では、防災基本条例を制定し、県民による生活物資の備蓄等に配慮を求めてきたほか、県民だよりやFMラジオ放送による防災啓発など、さまざまな機会を通じて、県民の方々に自助の取り組みを促してきたところです。

交通インフラ活用し地方創生

手賀沼の早期漁業再開見通し



予算委員会で質疑に立つ今井委員

そこで来年度は、県外へのプロモーションや周知期間を含めた広報の在り方、ルート設定における速達性などを十分に検討するとともに、

医師・看護師不足

今井委員 医師・看護師不足が深刻だが、今後の対策はどうか。

保健医療担当部長 本県における医師及び看護職員の人口10万人当たりの人数は、いずれも全国45位となっており、医師・看護職員の確保が重要な課題となっています。

高速バス実証運行

今井委員

次に交通インフラを活用した地方創生について伺います。予算案を見ますと、昨年に引き続き実施する、成田空港と県内観光地を結ぶ高速バスの運行や道路公社所管の有料道路の無料開放に加え、県内周遊鉄道フリー切符や東京湾での大型クルーザー船運航など、交通インフラを最大限に活用して、県内での宿泊・滞在型観光を促進していくとのこと。

総合企画部長

今年度の実証運行は、有料でも利用を希望する方が8割以上に上った二方、改善すべき点としては、県外からの利用が伸びなかったことや、ルートによっては所要時間が長くなったことなどが挙げられます。

初心に返り地域の声を県政へ

予も許されない状況です。今後とも耐震改修をより一層推進し、地震による建築物の被害を最小限にとどめ、県民の安全を確保するよう要望します。

放射性物質の影響

今井委員 県内水産物における放射性物質の影響はどうか。

農林水産部長

現在、県内の水産物のうち、東京湾や内房外房などの海面で出荷が規制されている魚種はありますが、二方、内水面では、利根川ではウナギに、また手賀沼ではウナギ、コイ、ギンブナ及びモツゴに、国の指示等により出荷の規制が行われています。

今井委員

手賀沼における規制解除の見込みはどうか。

農林水産部長

手賀沼では、これまでコイ、ギンブナ

湖岸堤防の整備

今井委員

手賀沼湖岸堤防整備の進捗状況はどうか。

河川整備課長

手賀沼湖岸堤防は、平成26年度から若松地区1・1キロ区間で堤防の整備を進めています。このうち、0・8キロ区間は、地盤改良工事が必要であり、平成27年度末に完了する見込みです。

今井委員

今後の見通しはどうか。

河川整備課長

28年度か

堤防整備に当たって

要望

では、遊歩道の整備ができるよう、我孫子市と調整していただきたい。

今井委員

県道布佐停車場線と国道356号が交差するJR布佐駅入り口交差点の歩道整備について、取り組み状況はどうか。

道路環境課長

同交差点の歩道整備は、現地測量が完了し、現在、詳細設計を実施しています。来年度は、用地取得に向けた境界確認などを予定しており、地元関係者のご協力を得ながら、事業の推進に努めてまいります。

今井まさる・PROFILE

略歴

- 昭和23年 1月 我孫子市生まれ。湖北小、湖北中、柏日体高卒
- 昭和41年 4月 千葉日産入社→退社
- 昭和43年 4月 今井タクシー入社→会長
- 平成11年11月 我孫子市議会議員初当選(2期連続当選)
- 平成17年 4月 県議会議員補選337票差で次点
- 平成19年 4月 県議会議員初当選
- 平成23年 4月 県議会議員再選
- 平成27年 4月 県議会議員3選

現職

- 県議会 文教常任委員会委員長
- 自民党県連 政務調査会副会長
- 議員連盟 私学振興、動物愛護、商工、靖国神社、地域医療、幼児教育、保育所、医療、調理師、宅地建物等、介護、防衛、資源リサイクル、看護、ハツ場ダム、カジノ、環境保全